

2025年1月

No1

嬉しく楽しく仕事をしたい!!

今年も9連休でした。日経新聞によると。

連休明けの1/6。「退職代行業者」に依頼が殺到したそうです。
過去最高の申し込み数に達したとか。会社側、働く側、どちらにも問題があるようですが、きっと今まで嫌々、淡々と働いていたのだと思います。

平常時から月曜日に休むと、「また今日から仕事か」と重い足取りで会社に向かっていた人達もみれません。そのように働いている人が多いのは本当に残念です。退職代行に勤めていた人が、急に忙しくなって嫌になり退職したという笑話も聞かれました。

やはり、生活のために淡々と働いていると楽しくないし、何かのきっかけで退職したくなるのかもみれません。

でも、そういう選択をしていると、わりと社会人一年生の状態に長く続きます。熟達するまで仕事の続けられなさと、年齢は関係なく新人の状態です。仮に経験のある仕事だとしても、その会社ではまだ貢献して貰えないで年下から指示される事もあるかも知れません。嫌味のひつとも言われたら、また仕事に続けにくくなるでしょう。

自分の好きな仕事が出来れば良いのに、そうすれば毎日楽しく仕事が出来ると、そう思ったことはありますか？

現実として、ほとんどの人が自分の好きな事を仕事にしている訳ではありません。「仕事を好きになった」のです。

一生懸命目の前の仕事に打ち込み、深め続けた結果、自分にはかき出し出せない特別な付加価値を發揮できるようになり、仕事に自信と誇りを持つようになるのです。

仮に好きな仕事をしようとしても、趣味を副業にするにはその分野でお金を払ってでも人から選ばれる、光るものが必要になります。

最近ではゲームをプレイする事でうろたいて生活する人も居るようですが、

とても厳しい世界だと聞きました。プレイヤーからゲームが好きではなくなった人も居るそうです。以前の世界でも人から選ばれる存在になるには、自分の好きな事を好きなペースで行っている方が通用しないと思います。

さて、先ほど自分の好きでは無かった仕事も、それに打ち込んで熟達し、自分ならではの付加価値を生み出せるようになることを書きました。

DUSKIN

喜びのタネをまこう

2025年1月

No.2

それを意識して日々働いているでしょうか？

入社してから同じ業務に就いている方もいると思えます。
特に新卒入社で3~5年ほどレンタルだけしてきた方達は、
お客様先も記憶し、商品も覚え、苦労せずとも一日の仕事はこなせるため、
それを繰り返しているだけの毎日になっていませんか？

そのままだと、誰にも何も言われなければ、10年先も同じ事を繰り返して行く
事に陥るでしょうか？ それとも途中で嫌になり退職する方向になるでしょうか？
今の倍の売上を捌く事は無理だと考えると、先の給与も見えて来てそう考える
かも知れません。

自分の5年後、10年後の理想の姿を想像し、それを逆算した短期的な
目標を立てて置くならば何も考えていない人との差は明確に出ます。

若い時は吸収力が高いことから、その時間を有効に使って欲しいと思えます。
そのままだと、それなのに自分に欲する分野でどのように力を発揮できるか、
まだわからぬ事もあろうかと思えます。

案外、自分に自分の打ち込める事を見つけられぬ事はあるものです。
もしもしたら、レンタル業をされている方も、ケアの仕事をやってみたらメキメキと
成長する場合もあるでしょう。もしもしたら、ジョブローテーションをする事で、昔の人に
秘められた能力が開花する事もあるかも知れません。

上司の立場にある人は、可能性を探る事にも鋭くあって欲しいと思えます。

「型」の中にも、レンタルコースを他の人と交換するローテーションに入って記載されて
いますが、同じ仕事の中にも自分の得意分野が際立つ事があります。

追加・増加が得意な人、解約がとてもし易い人、ケアの紹介が多い人、等
居ると思えます。エアコン掃除が得意な人、水回り清掃が得意な人
など、それも個性です。与えられた仕事をこなすのは一年目で卒業し、

得意な事に磨きをかけて行くならば自信と誇りが湧いて来ます。

きっとファンになってくれるお客様も増えて行く事でしょう。

会社への貢献度の高さがプライドになり、自分というブランド力が付いてくるかも
知れません。そうすると仕事に楽しくなっていくと思います。

これは、好きな事を仕事にした訳では無くとも、一つの事に打ち込む事で
身についていきます。

2025.1月

No.3

若し社員は、その領域を徐々に広げて行くならば、知識の幅が益々広がり、さらに付加価値が高まります。

でも、まずは「今の持ち場」で自分ならではの特別な力を身に付ける意識を持って下さい。仮にジョブローテーションが行われたとしても今の経験の次に生きる「業」を身につけるのです。

今、給与、賞与の評価を刷新するべく見直しを行っています。

今月今夜の数字が全ての評価スタイルではなく、どんな人材に育って欲しいか？

という事や、求められているプロセスにゴツゴツどう取り組んだのかを重視し、

何を、どう頑張れば、良くなるか？ それをどう評価として返ってくるのか？を

明確にしたいと思っております。にまたも降って来た注文に大きなインセンティブが支払われる

仕組みは甚だしい人を生み出したり、ゴツゴツ努力している人のやる気を削ぎます。

職務別にも細かい評価基準を設け、キャリアアップをするには、求む何を

どう頑張れば良くなるか？ 昇格したらどんな責任が求められるのか？ どんな労働を提供し、どんな報酬が得られるのかを明確にしていきたいと思います。

それが皆さんの働く上で目指すベンチマーキングになる事を願っています。

稲森和夫さんは、

「好きなことを仕事に出来る人は非常に稀な事である。

好きな仕事をしたと思って実際に選んだはずなのに、その仕事をやってみたら好きではなかった。という話もよくある」

と言っています。「それよりも与えられた仕事を好きになる努力。

打ち込む努力が必要なんだ。」そうです。

きっとうちの会社で働いているほとんどの人が、ダスキンを掃除が好きで入社されたのではないでしょう。何のきっかけで入社し与えられた仕事をこなすところからスタートされたのではないですか？ 皆さんの店の店長も同じです。

きっとやり甲斐を見つけ打ち込み、今日まで至っていると思っております。

淡々と働く時間を短くし、嬉しく楽しく働く時間を長くしましょう！！

自分オリーの専門性を獲得しましょう。人へ命令されて行う事よりも自分から能動的にすると楽しく働けます。今年の夏の連休も長くなりそうです。

連休明け、皆さんの件々入社する様な会社になりたいと思っております。

DUSKIN

喜びのタネをまこう